

(案)

第4次国有林野施業実施計画書

(千葉南部森林計画区)

計画期間 自 平成22年4月 1日
至 平成27年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2	施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積 又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごと の更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等	1
(3)	水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積	2
(4)	資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
(5)	資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
(6)	伐採総量	4
(7)	更新総量	5
(8)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	7
(1)	保護林の名称及び区域	7
(2)	緑の回廊の名称及び区域	7
6	レクリエーションの森の名称及び区域	8
7	その他必要な事項	10
(1)	施業指標林、試験地等	10
(2)	フィールドの提供	11
(3)	その他	12

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

（単位：面積ha、伐期齢年）

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ 長伐期	540.52	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
スギ 分散伐区	301.30	〃	45
ヒノキ 長伐期	724.70	〃	100
ヒノキ 分散伐区	670.91	〃	50
ヒノキ枝打分散伐区	—	—	—
アカマツ 長伐期	—	—	—
アカマツ 分散伐区	—	—	—
カラマツ 長伐期	—	—	—
カラマツ 分散伐区	—	—	—
スギ 複層林	222.41		45～90
ヒノキ 複層林	200.88		50～100
その他 複層林	—	—	—
天然生アカマツ分散伐区	—	—	—
ぼう芽 分散伐区	758.95	伐採面積の縮小、モザイク的配置	25
天然林漸伐分散伐区	—	—	—
ブナ漸伐 分散伐区	—	—	—
択伐	263.63		回帰年は定めない
その他	263.24		定めない
施業群設定外	—	—	—
合計	3,946.54		

(注) 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(3) 水土保全林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	34	
スギ分散伐区	33	
ヒノキ長伐期	36	
ヒノキ分散伐区	67	
ヒノキ枝打分散伐区	—	
アカマツ長伐期	—	
アカマツ分散伐区	—	
カラマツ長伐期	—	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	25	
ヒノキ複層林	20	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	—	
ぼう芽分散伐区	151	
天然林漸伐分散伐区	—	
ブナ漸伐分散伐区	—	
択伐	26	
その他	26	
施業群設定外	—	
合計	418	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積ha、伐期齢年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ大径材	—	—	
スギ中径材	400.65	一般建築材(22cm)	55
ヒノキ大径材	—	—	—
ヒノキ中径材	283.46	一般建築材(22cm)	—
ヒノキ無節柱材	—	—	—
アカマツ大径材	—	—	80
アカマツ中径材	—	—	55
カラマツ大径材	—	—	—
カラマツ中径材	—	—	—
スギ複層林	1.30	造作材・一般建築材(22~30cm)	45~90
ヒノキ複層林	2.12	造作材・一般建築材(22~28cm)	50~100
その他複層林	—	—	—
天然生アカマツ中径材	—	—	—
ぼう芽	79.38	しいたけ原木(8~12cm)	25
天然林漸伐	2.26	家具・木工・加工用(30cm)	70
ブナ漸伐	—	—	—
択伐	1.76	家具・木工・加工用(30cm)	回帰年は定めない
その他	2.28	定めない(保護樹帯等)	定めない
生産群設定外	—	—	—
合計	773.21		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

2. 択伐生産群の伐採は標準伐期齢以上とし、隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当該森林計画区の「資源の循環利用林」は分収林が大部分であり、標準伐採量は定めないこととする。

(6) 伐採総量

(単位：面積ha、材積)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	32	915 (12.11)	947	5,700	119,946		119,946	
	水 源 か ん	スギ長伐期	—	13,126					13,126
		スギ分散伐区	—	7,453					7,453
		ヒノキ長伐期	—	15,153					15,153
		ヒノキ分散伐区	—	17,449					17,449
		スギ複層林	—	8,493					8,493
		ヒノキ複層林	—	3,192					3,192
	養 タ イ プ	ぼう芽分散伐区	966	—					966
		択 伐	29	785					814
		そ の 他	—	—					—
		施業群設定外	—	—					—
		小 計	995	65,651 (692.74)					66,646
	計		1,027	66,566 (704.85)					67,593
と森 の林 共と 生人 林	自然維持タイプ	—	4,125 (43.61)	4,125					
	森林空間利用 タイプ	11,732	30,796 (13.86)	42,528					
	計	11,732	34,921 (57.47)	46,653					
循 資 環 源 利 の 用 林	スギ中径材	15,065	3,534	18,599	1,400	28,152	—	28,152	
	ヒノキ中径材	5,277	2,467	7,744					
	スギ複層林	—	132	132					
	ヒノキ複層林	—	123	123					
	ぼう 芽	152	—	152					
	そ の 他	2	—	2					
	計	20,496	6,256 (64.95)	26,752					
合 計		33,255	107,743 (762.32)	140,998	7,100	148,098	—	148,098	
年 平 均		6,651	21,549 (152.46)	28,200	1,420	29,619	—	29,619	

(注) () は、間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	—	36.72	36.72	66.72	103.44
	複 層 林 造 成	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	36.72	36.72	66.72	103.44
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	0.52	0.13	0.65	—	0.33	0.33	0.09	1.07
	ぼ う 芽	—	15.00	15.00	—	7.18	7.18	4.87	27.05
	計	0.52	15.13	15.65	—	7.51	7.51	4.96	28.12
合 計		0.52	15.13	15.65	—	44.23	44.23	71.68	131.56

(8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下 刈	—	9.25	9.25	—	142.65	142.65	251.81	403.71
	つる切	—	12.95	12.95	—	11.03	11.03	12.39	36.37
	除 伐	—	38.38	38.38	—	40.71	40.71	22.81	101.90

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	筒森(花立山)林道	1~3	70	
		筒森(杉戸)林道	13~20	35	
		大山(大山)林道	117	20	
	小計	3路線		125	
その他	改良	大山支線林道	114~116	25	
		大山第二支線林道	116	25	
		大森第二支線林道	29、32	60	
		鬼泪山併用林道	100	15	
		山の上林道	40	30	
		大田代林道	46、47	20	
	小計	6路線		175	
合計	改良	9路線		300	

4 治山に関する事項

位置 (林班)	区分	工種	計画量
1~20、23~30、40~54、108~111	保安林の整備	その他	564ha
118	保安施設	山腹工	1箇所
合計	保安林の整備		564ha
	保安施設	山腹工	1箇所

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区には、動植物の保護、遺伝資源の保存等を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護、保存を図っていくこととする。

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木 遺伝資源 保存林	元清澄山	既設	170.29	60 い ₁ 、い ₂ 、ほ 63 い、は、に ₁ 、 に ₂ 64 い ₁	房総丘陵のほぼ中央、元清澄山頂上付近に位置し、この地方には稀少なモミ、ツガ、ヒメコマツなどの天然林であることから、引き続き維持・保全に努めることとする。
遺伝資源保存林計			170.29		
植物群落 保護林	南房総 暖温帯性	既設	4.24	32 う ₁ 33 ほ	房総半島南部に残る代表的な暖温帯性の天然林である。 健全な状態で維持されていることから、引き続き維持・保全に努めることとする。
植物群落保護林計			4.24		
保護林合計			174.53		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新既設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然観察教育林	筒 森	既設	103.85	大正時代に植栽（スギ・ヒノキ）・設定された展示林と勝浦ダム周辺のハイキングコースがあり、市民の自然観察等に利用されている。 このため、利用者の安全等に配慮し、巡視の強化に努めることとする。	7 い ₃ ～ろ、に、と ～り、る～よ、 れ、そ、ね～む、 の、く、ま～さ 32 む ₁ ～う ₁ 、の ₁ 、 の ₂ 33 い ₁ ～に、へ～り、 る、か～た、お	育成複層林施業
					7 は、ほ、へ、ぬ、 た、つ、う、お、 や 32 く 33 ぬ、わ	天然生林施業
					7 イ 32 イ	林地以外
自然観察教育林計						
風景林	麻 綿 原	既設	30.63	アジサイ園と一体となった景観美を呈している。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	35 に～ほ ₂ 、と、ぬ か、よ、れ	育成複層林施業
					35 ろ、へ、ち、り、 る、わ、た ₁ 、ほ ₂ 、そ	天然生林施業
					35 イ、ロ	林地以外
	久 留 里	既設	92.03	君津市街地近郊に位置し、久留里城と一体となった景観美を呈しており、引き続き景観の維持に努めることとする。	58 は、ほ、り、る、 か、れ、ね、ら、 む、の～ま 59 い、は、に、ほ と、り～よ、れ ～な、の	育成複層林施業
					58 い、ろ、に、へ ～ち、ぬ、わ、 よ、た、そ、つ、 な、う、こ、え 59 ろ、に、へ、ち、 た、ら、う	天然生林施業

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
	久留里				59 イ、ロ	林地以外
風 景 林 計			122.66			
合			226.51			

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業 指標林	間伐施業指標林	H 2	1.34	32 と	間伐技術の定着及び普及並びに充実を図る。
	複層林施業指標林	H 2	0.68	89 い ₂	複層林施業の推進を図る。
	〃	H 2	2.05	101 わ	〃
	椎茸原木林育成 天然林施業指標林	H 2	0.65	90 に	天然林施業の推進を図る。
施業指標林計			4.72		
展示林	筒 森	T14	2.47	32 の ₁ 、の ₂	国内外の広葉樹が多数生育し学術及び林業技術上の参考林等としての価値が高い。
	上 修 行 堀	S50	0.45	26 り	良好な人工造林地（ヒノキ）として学術及び林業技術上の参考林等としての価値が高い。
展 示 林 計			2.92		
試験地	筒 森 ス ギ 収 穫 試 験 地	S 4	1.73	33 い ₂	成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集し、林分構造の推移を解明する。
試 験 地 計			1.73		
次代 検 定 林	一般次代検定林	S51	0.54	3 え ₂	(関東22号)
	〃	S62	0.78	11 よ ₄	(関東55号)
	地域差検定林	S54	0.47	26 ろ ₂	(関東23号)
次 代 検 定 林 計			1.79		
合 計			11.16		

(2) フィールドの提供

対 象 地 (林小班)	設 定 の 目 的	備 考
89 い ₃	ガールスカウトの森	1.45 ha
95 る ₃ 、る ₄	FICの森	1.86 ha
102 ち ₁	ドコモの森	2.30 ha

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
92 い ₁ ~い ₃ 93 い~わ、よ、れ ~ね ₃ 、む ₁ 、む ₂ 94 い ₁ ~は ₁ 、に~れ 95 ろ~り ₂ 、ぬ、わ ₁ ~た ₂ 96 い ₁ ~へ 97 い~ぬ ₂ 98 い ₂ 、ろ ₂ ~と ₂ 99 ろ ₁ ~り ₄ 、ぬ ₁ ~る 100 い ₁ ~い ₃ 、ろ ₂ ~ろ ₅ 、に ₂ 、に ₉ 、ほ、 と ₁ 、と ₂ 、ぬ ₁ 、ぬ ₂ 、に ₂ ~ら ₂ 、う ₂ 102 ろ ₁ 、ろ ₂ 、に ₁ 、に ₂ 、へ ₁ ~ち 103 ろ ₃ 、ろ ₄ 、つ		育成単層林施業
7 い ₁ 、い ₃ 33 れ ₁ ~つ ₃ 、な~む ₂ 、の、く 34 い~は、ほ ₁ 、ほ ₂ 、へ~る、な~ の 35 い ₁ 、は、つ 36 い ₁ ~に ₃ 、に ₅ ~へ ₃ 、と ₃ ~ち ₂ 37 は~ち、ぬ、わ~つ 82 い ₁ ~い ₁₅ 、に 82 い~み 84 い~く 86 い ₁ ~お、や~す ₃ 93 た 94 は ₂ 95 り ₃ 、り ₄ 、る ₁ ~る ₇ 99 ぬ 100 ろ ₂ 、ろ ₆ 、ろ ₇ 、に ₃ ~に ₈ 、ち、り ろ~な ₁ 、む ₁ ~う ₁ 、う ₃ ~う ₅ 、お 101 い、ろ、に~わ 102 い、は、ほ、ち~ぬ 103 い~ろ ₂ 、ろ ₅ ~そ 118 に ₁ ~に ₆		育成複層林施業
33 ね ₁ 、ね ₂ 34 に ₁ 、い ₂ 、ほ ₃ 、わ~ね 35 い ₂ 、ろ ₂ 36 に ₄ 、へ ₄ 、り 37 ろ、る、そ 83 む 86 く、す ₄ 93 か 100 へ、の 101 は 102 ろ 118 ろ ₁ ~は ₂		天然生林施業

位 置	面 積 (h a)	施 業 方 法
7 ロ 34 イ、ロ 36 イ ₁ ～ロ ₂ 83 イ 84 イ、ロ 86 イ～ニ 92 イ、ロ 93 イ～ニ 94 イ～ホ、ト、チ、ヌ～ワ 95 イ～ニ 96 イ～ホ、ト、チ 97 イ、ロ 98 ロ、ハ 99 イ、ハ 100 イ～ハ、ホ、ト 102 イ～ハ 103 イ 118 イ～ニ ₂		林地以外
計	1,389.35	

(注) (1)、(2) の箇所を除く。